

## 応援されるチーム、 応援したくなるチーム

### バスケットボール部

私たちは現在、男子バスケットボール部22人、女子バスケットボール部9人で活動しています。今年度は「走れるチーム」「守りを徹底できるチーム」「応援されるチーム」を目指し日々の練習に励んでいます。週に2日、畑澤先生が指導して下さる日は男女合同練習を行っています。体力、技術ともに未熟で人数も少ない女子にとつては良い刺激をもらえる貴重な機会であり、とても感謝しています。合同練習以外の日には基礎的な練習や坂ダッシュ、屋外での20分間走などで体力・技術・チーム力を磨いています。



第39回三校対抗バスケットボール定期戦にて

女子は長年同好会として活動してきましたが、昨年念願叶って「バスケットボール部」となり、今年で2年目になります。署名して下さった皆さん、大きな力になってくださった先生・先輩に心から感謝いたします。協力して下さった皆さんの期待に少しでも応えるため、単にバスケットが好きな集団ではなく、部としての意識をもった集団として活動していきたいと思っています。

〔2G 進藤愛加〕

## 14連覇、快進撃の秘訣

### 将棋部

秋田高校将棋部は

現在男子14人で活動しています。今年度は高校将棋選手権秋田県予選・団体の部で14連覇を達成しました。記録が大きくなるにつれてプレッシャーも大きくなりますが、気負わず、自分たちのペースで強くなっていけたらと思っています。



将棋部 普段の活動風景

普段の活動では、主に実戦形式で将棋の勉強に励んでいます。その中で特に力を入れているのは対局終了後の感想戦です。感想戦とは対局を振り返りながら、どこが悪かったのか、どう指せば良かったのかなどを、対局者同士で話し合いながら考えるものです。読みの甘さやクセなど自分では気づかない弱点を指摘されることも多くあり、確実に棋力向上につながっています。また、感想戦を行うには対局中の自分の指し手を記憶しておく必要があります。部員全員が感想戦を行うことができるのは自分の対局に集中できている証拠です。一局からより多くを学びとろうとする姿勢が秋田高校将棋部の快進撃の原動力になっているのだと思います。

私たちがこれほど将棋を好きになれたのも、優しく丁寧に教えてくださった先輩方のおかげです。そんな先輩方から受け継いだ明るく楽しい雰囲気の中で、部員全員でさらにレベルアップしていきたいと思っています。

〔2G 吉田真樹〕

### 事務局通信

事務局長を仰せつかりました柏木です。どうぞよろしく願い致します。

新任に際して、「同窓会って何だろう」と考えました。これまで自分にとって、ちよつと敷居の高かった同窓会。多くの会員に身近に感じてもらうことが大事だな、と思った次第です。

それにしても、夏の高校野球には燃えました。応援の生徒たちが生き生きとしていました。

### 三編 雑文「こゝろ」

広報委員会が新メンバーに切り替わった。お気づきかどうか、これを機にレイアウトを一新。原稿量も2割ほど減らし、ゆつたりと読みやすいように心がけた▼長らく続いた「提言」も「交差点」に変更した。同窓生同士、あるいは同窓生と在校生が交友する一助に、との願いを込めて。母校の歴史をひも解く新企画も始めたので、次号以降もご期待ください。（風来坊）